

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
三山木地区

平成24年 3月

京都府京田辺市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	居住人口	人	668	750	854	確定 見込み	● ○	○	あり なし			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住宅建設の増加と共に、人口の定着が進んでいると評価できる。	
指標2	満足度(学生が求めている買い物等の場所)	%	6%	10%	8.3%	確定 見込み	● △	△	あり なし	38.9%	H23年11月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	三山木駅周辺の施設が充実し効果が現れている。
指標3	満足度(安全安心な住みやすさ)	%	『歩道がない』 51% 『夜道が暗い』 31%	『歩道がない』 「歩道がない」 「夜道が暗い」 とも25%	『歩道がない』 37.0% 『夜道が暗い』 32.6%	確定 見込み	● △	△	あり なし	『歩道がない』 23.8% 『夜道が暗い』 36.3%	H23年12月	○ △	住宅地周辺の市街化形成成熟度が低いことがいえる。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まち全体の整備水準が進むと同時に身近な居住環境に目が向けられた結果だと推測される。
指標4						確定 見込み			あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	三山木駅から同志社大学等へのバス利用者数	人	446		813	確定 見込み	●				760	H23年 6月		<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅前広場の整備により、バスへの連携が向上し、交通結節点としての機能が進んだ。
その他の数値指標2	防火水槽を利用する消火活動範囲	ha	12.3		18.5	確定 見込み	●					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	防火水槽の設置により、消火活動範囲や消火活動時間が向上し、安全安心なまちづくりに寄与した。
その他の数値指標3	土地区画整理事業による区画街路の整備率	%	14		80	確定 見込み	●				94%	H23年12月		<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	区画街路の整備により、歩行者の通行利便性が向上し、安全に歩行出来る空間が確保された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	駅前広場周辺街区の建物の高質化機運の継続	地区計画による壁面後退・建築物等の高さ制限・垣または柵の構造の制限	良好な景観の形成に繋がった。	
	防災機能の向上	防火水槽の設置検討 公園の整備検討	平成24年度に防火水槽・公園を設置予定。	
	バリアフリーの視点からの整備の推進	JR三山木駅のエレベーター設置の要望継続	平成22年度にエレベーター設置。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	同志社大学の近くに居住する魅力のPR強化	区域内道路の整備促進	区域内道路の整備率UP (H20:80%→H23:94%)	
	住宅地における街灯の設置	区域内道路の整備にあわせて防犯灯を設置	同上	
	都市下水道へ接続する排水路の整備	排水路の整備促進	排水路の整備率UP (H20:83%→H23:95%)	
	地域住民センター等の設置検討	三山木地区内の住民に対するアンケート調査の実施	住民センター設置の要望有り。	更なる検討を進める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項